

2022-7号 網代地内特定空家等解体工事設計業務

図 面 目 録

図面No.	図 面 名	縮尺(A2)	図面No.	図 面 名	縮尺(A2)
A-01	解体工事仕様書	—	EM-01	電灯・弱電設備 撤去図、 給排水・衛生器具・ガス配管設備 撤去図	1:100
A-02	附近見取図、配置図、工事概要・注意事項	1:3000 1:100			
A-03	平面図、立面図、仕上表、床面積図、床面積表	1:100			
A-04	A-A 断面図、基礎伏図、基礎断面詳細図、 天井伏図、屋根伏図	1:100 1:30			
A-05	〈参考図〉仮設配置図、借地計画面積図	1:100			
A-06	木杭柵配置図(上屋解体完了後)、木杭柵詳細図	1:100 1:30			
A-07	動産調査 平面図、動産調査 立積表	1:100			

図面縮小率 A3 ≒ 70.7%

令和 7 年 12 月

有限会社 尾崎設計

[illegible]

- | 項 | 目 | 特 記 事 項 | | | | | | | | | |
|---|----------------------------|--|--------|--------|------|----|-------|------|----|---------|--|
| ① | ① 通 用 基 準 等 | ※工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編 国土交通省大臣官庁官庁業務補部監修 | | | | | | | | | |
| 一般共通事項 | ② 官公署その他への手続き
(1.1.3) | 工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は本事務請負者の負担とする。 | | | | | | | | | |
| | ③ 施工図及び施工計画書
(1.2.2) | 施工計画書は、施工調査を基に当該工事で実際に施工することを、具体的な文書とし、工事の着手前に監督員に提出する。
提出した施工図及び施工計画書の著作権に關わる当該建物に使用権は、発注者に移譲するものとする。 | | | | | | | | | |
| | ④ 施 工 管 理
(1.3.1) | 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律で定める技術管理者について資格を証明する資料を提出すること。 | | | | | | | | | |
| | ⑤ 建設副産物対策等の責任者
(1.3.2) | ※建設副産物対策の責任者
・ 特別管理産業廃棄物管理責任者
※産業廃棄物処理責任者 | | | | | | | | | |
| | 6 電 気 保 安 技 術 者
(1.3.3) | ・ 適用する（当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする）
なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書（電気設備工事編）第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 | | | | | | | | | |
| ⑦ | ⑦ 施 工 条 件
(1.3.5) | 日曜日及び祝日の工事施工 ※ 行わない
施工時間（午前8時30分～午後5時00分）
・ その他（ ） | | | | | | | | | |
| ⑧ | ⑧ 工 事 安 全 計 画 書
(1.3.6) | 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を作成し監督員に提出すること。 | | | | | | | | | |
| 9 発 生 材 の 処 理
(1.3.10) | 9 発 生 材 の 処 理
(1.3.10) | 引渡しを要するもの
・
引渡し場所
※ 現場内の監督員が指示する場所
・
その他の処理、4章「建設廃棄物の処理」及び5章「特別管理産業廃棄物等の処理等」による。 | | | | | | | | | |
| | ⑩ 技 能 士
[1.6.2] | 下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。
(技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は準一等級の資格を有する者)
また、その技能士は其の者が技能士であることがわかる名札（下面参考）を常時着用すること。 | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th><th>技能検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td><td>とび</td><td>○とび作業</td></tr> <tr> <td>造園工事</td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr> </tbody> </table> | | 工事種目 | 技能検定職種 | 技能検定作業 | 仮設工事 | とび | ○とび作業 | 造園工事 | 造園 | ・造園工事作業 | |
| 工事種目 | 技能検定職種 | 技能検定作業 | | | | | | | | | |
| 仮設工事 | とび | ○とび作業 | | | | | | | | | |
| 造園工事 | 造園 | ・造園工事作業 | | | | | | | | | |
| <p>〈技能士名札参考図〉</p> | | | | | | | | | | | |

1101

- ・構内埋戻し土に使用

处理

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (ℓ/分)	・ 1 ・	・ 5 ・	・ 10 ・
試料の吸引時間 (分)	・ 5 ・	・ 120 ・	・ 240 ・
採取箇所は図示による。			
建築設備に使用されている石綿含有建材 ・ あり ・ なし			
使用設備・使用部分	処理の方法		
石綿含有吹付け材の処理 (レベル1)			
除去工法	※ (6.3.2(a)) による除去工法 ・		
除去物及び汚染物の処理	※密封処理 (二重被覆包) ・セメント固化 汚染物 (養生シート、使い捨て保護衣、フィルタ等) は密封処理 (二重被覆包) する。		
処分方法	※管理型処分場に埋立処分 (県 地内) ・中間処理場による熔融固化		

1

石綿含有吹付け材の除去作業フローチャート（参考）

【事前準備】

- 工事計画書・要領書作成
- 必要機器・資材の準備・調達

事前調査結果の表示

内装材及びRC以外の建壁等撤去処分

清掃

仮設床及び壁による作業室の区画

【養生作業・準備作業】

環境測定

作業前

- 測定 1（処理作業室内）
- 測定 2（調査対象外部の付近）

床面のシート養生
壁面のシート養生
屋根気密戸の養生
セキュリティゾーンの樹立・設置
負圧じん装置の設置
エアレスブレイヤーの設置
設備機器・什器備品等の養生

天井仕上材、下地材の撤去

壁面のシート養生（天井裏）
設備機器・什器備品等の養生（天井裏）

【除去作業】

粉じん飛散抑制剤の散布、含味の確認

吹付け石綿の除去

【石綿処理】

除去した石綿の袋詰め（二重袋詰め）

袋詰めした石綿の一時保管

床面、足場上、設備機器養生面等清掃

除去面所の残石綿、清掃検査

除去した面への粉じん飛散防止剤の吹付け

養生シート（プラスチックシート）面への粉じん飛散防止剤の吹付け

1～1.5時間負圧除じん又は、環境測定により外都温度と同程度となっていることを確認

【養生撤去・後片付け】

壁面（天井）養生シートの撤去

作業場内足場の解体、場外搬出

床面養生シートの撤去

養生シート等の場外搬出

最終清掃

【清掃】

セキュリティゾーンの撤去
仮設置、床の解体

【記録】

施工記録
作業員の作業記録

完了

運搬車両に積込み
荷台のシート置い
特別管理産業廃処分場へ運搬
特別管理産業廃処分場で埋立

負圧除じん装置の稼働
呼吸用保護具の着用
保護衣の着用

改修標準仕様書「環境配慮改修工事9.1.2」による

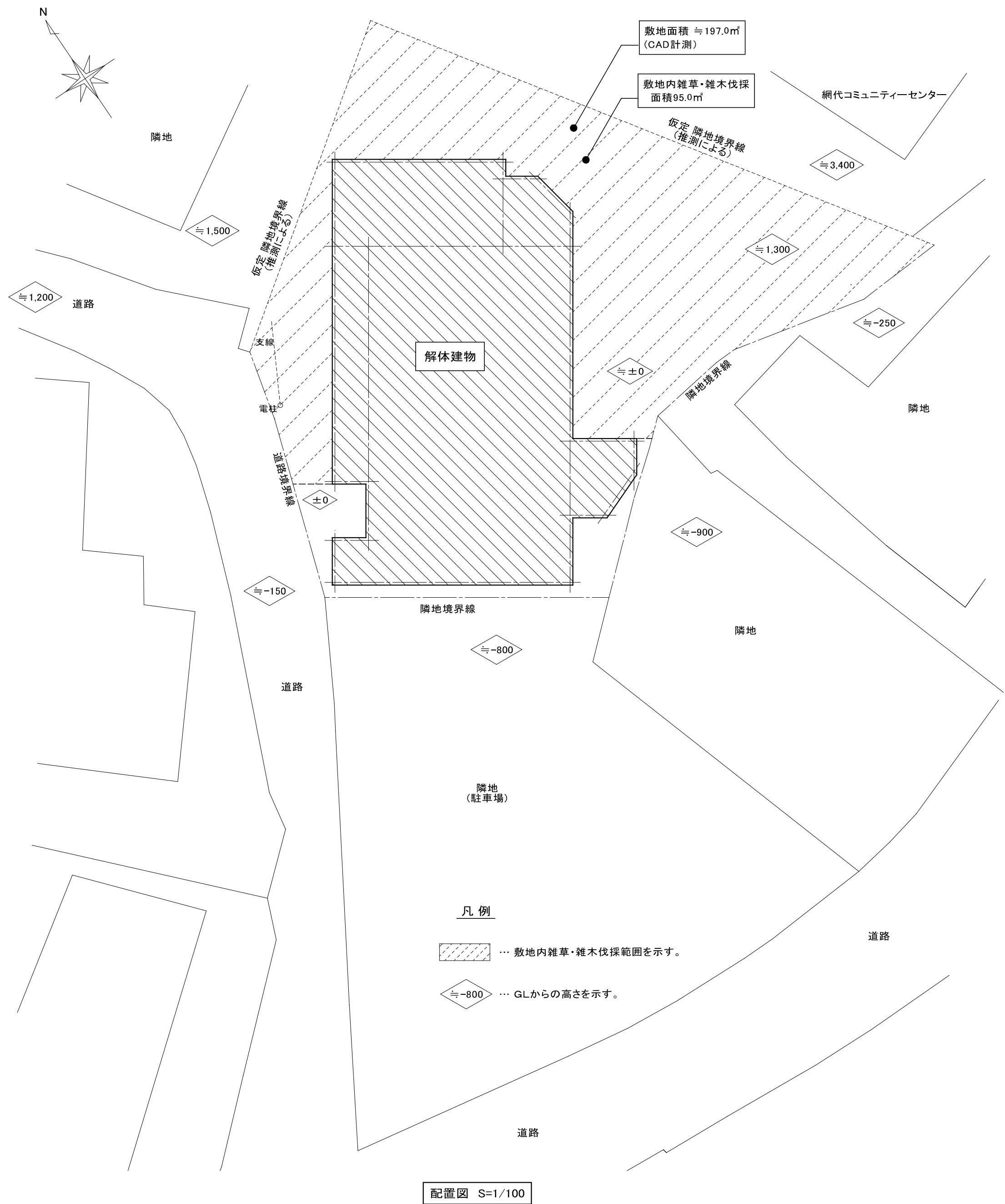
アスベストの除去方法については鳥取県の石綿の除去等に係る施工業者レベル1登録指定業者による工法とする。

作業中

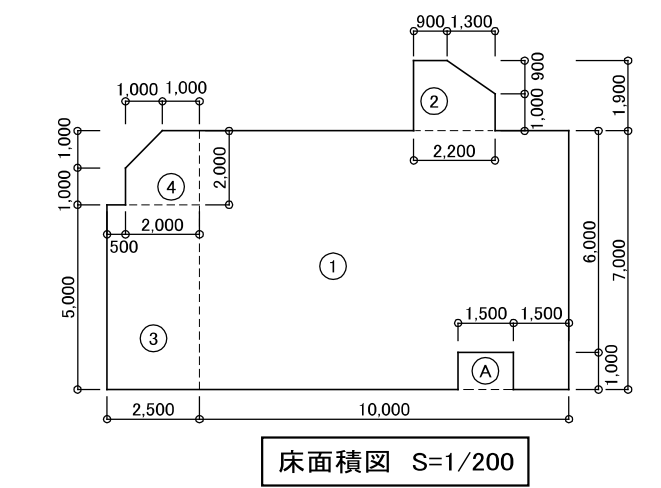
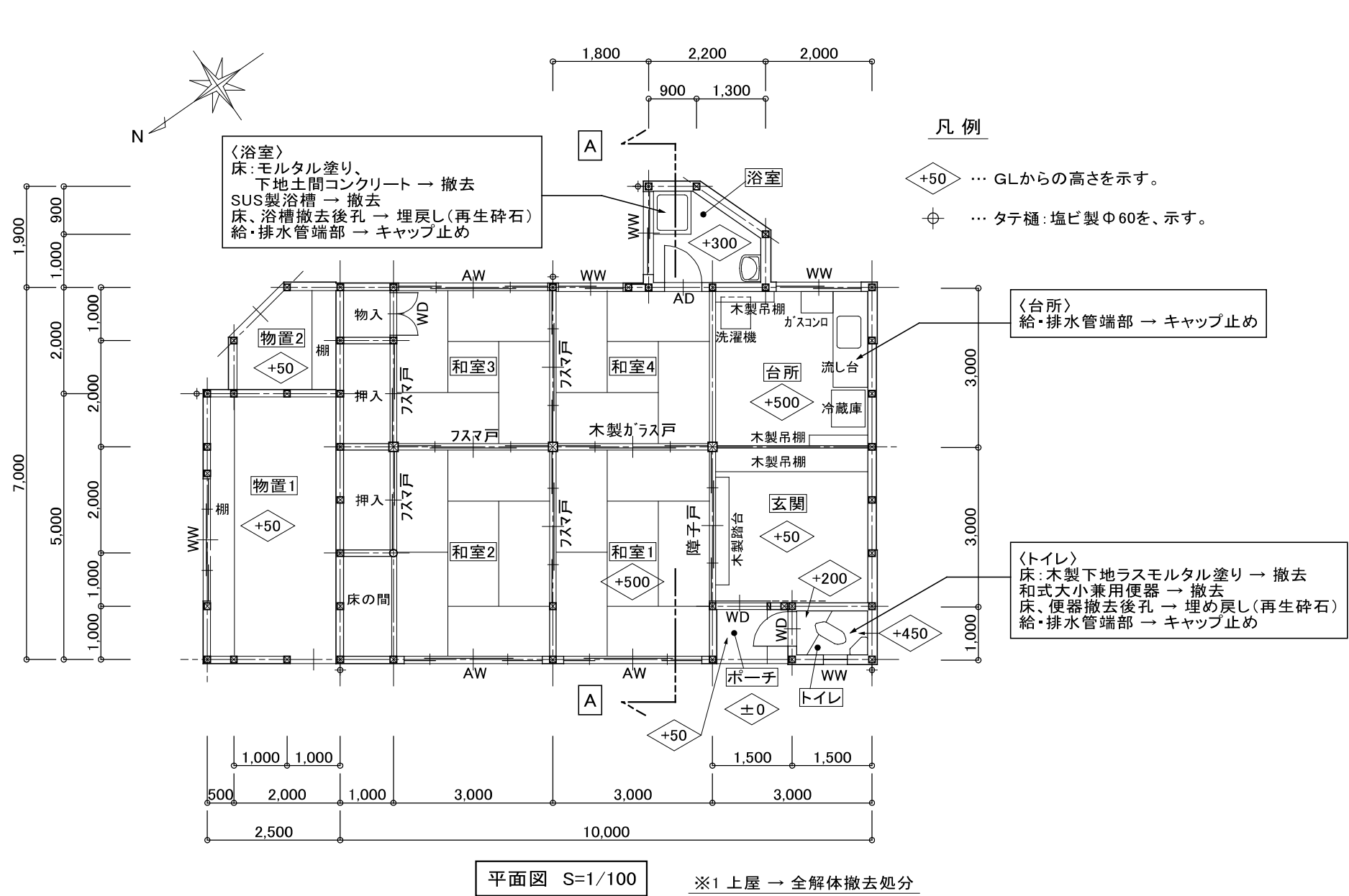
- 測定 3（処理作業室内）
- 測定 4（負圧・除塵装置の排出口出し口）
- 測定 5（処理作業室外（敷地境界））
- 測定 6（処理作業室内）

作業後

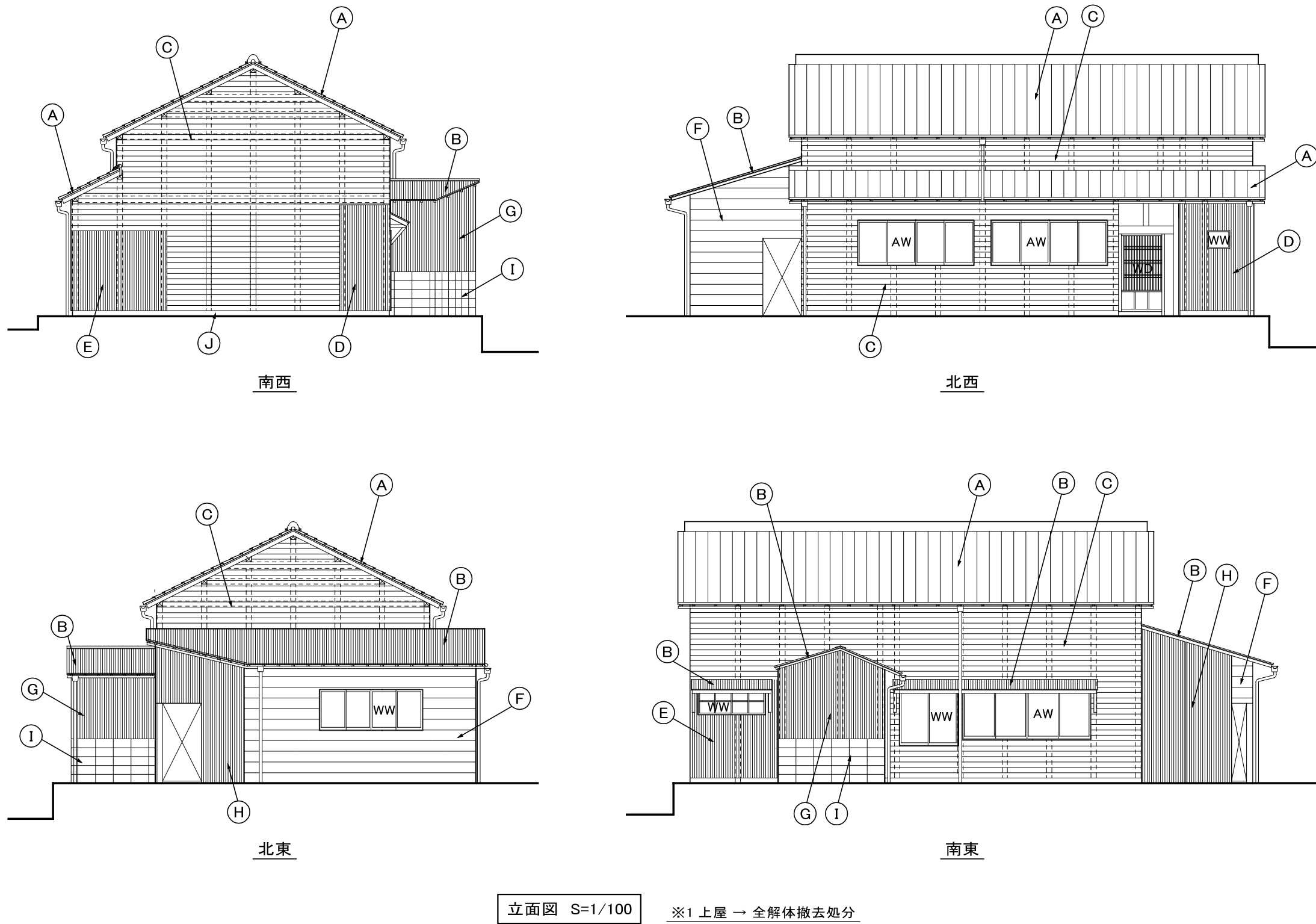
- 測定 7（処理作業室内）
- 測定 8（調査対象外部の付近）



工事概要・注意事項
<p>・ 木造戸建て住宅の上屋を、全解体撤去処分とする。</p> <p>・ 上屋解体撤去に伴う、電気設備及び機械設備の撤去処分。</p> <p>・ 基礎、一部土間コンクリート、外構等については、存置とする。</p> <p>・ 現況地盤以下の、電気設備及び機械設備の埋設配管等は、存置とする。</p> <p>・ 各埋設配管の、地中側への取合い部は、雨水・土砂流入防止として、キャップ止め処理とする。</p> <p>・ 浴槽、和式大小兼用便器は、撤去処分。 撤去後孔は、再生砕石による埋戻しとする。</p> <p>・ 敷地内の雑草、雑木の、伐採及び処分。</p> <p>・ 建物内の動産を、建物外(敷地内)に、搬出し集積する。</p>
<p>注意事項</p> <p>・ 施工前に、石綿含有建材事前調査を行い、報告書を提出すること。</p> <p>・ 事故防止を図るため、関係する法令、指針等の遵守を徹底すること。</p> <p>・ 近隣に対して、騒音、振動、粉塵飛散等の影響が最小限となる、解体工法・機器とすること。</p> <p>・ 強風対策等を万全に行うこと。</p> <p>・ 運搬路、周辺敷地、工作物等に損傷を与えないよう予防措置を講じること。</p> <p>又、万が一損傷及び汚損を与えた場合には、請負者の責任で速やかに原形へ復旧すること。</p>



床面積 表		
記号	計算式	面積 (㎡)
①	10.00 × 7.00-1.50 × 1.00	68.500
②	2.20 × 1.90 - 1.30 × 0.90 × 1/2	3.595
③	2.50 × 5.00	12.500
④	2.00 × 2.00 - 1.00 × 1.00 × 1/2	3.500
	計	88.095
		↓
	延べ床面積	88.10㎡
① ~ ⑥		88.095
⑦	1.50 × 1.00	1.500
	計	89.595
		↓
	建築面積	89.60㎡



【仕上表】 ※2 各種材料厚さは、推測による記載。 ※3 石綿含有分析調査済み → 石綿含有なし									
【外部】		【内部】							
部 位	名 称	室 名	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	CH	備考・その他
屋根	① 和瓦 土葺き ② 厚0.25 小波カラー鉄板葺き	玄関	土間コンクリート 【存置】	—	板張り	小屋裏室 木製床下地裏面表し (厚15板張り、根太90×75@500)	—	2,400	木製踏台 L2,000×D200×H350 木製造作吊棚 L2,800×D450×3段
庇	③ 厚0.25 小波カラー鉄板葺き	和室1	畳	—	板張り	小屋裏室 木製床下地裏面表し (厚15板張り、根太60×75@500)	—	2,000	
軒天	木製屋根下地表し	和室2	畳	—	板張り	小屋裏室 木製床下地裏面表し (厚15板張り、根太60×75@500)	—	2,000	床の間、押入れ(棚1段)
外壁	④ 土壁下地 厚12 板張り ⑤ 厚12 板張り ⑥ 土壁下地 厚0.25 小波カラー鉄板張り ⑦ 厚0.25 小波カラー鉄板張り ⑧ 土壁下地 厚0.8 小波硬質塩化ビニル板張り ⑨ 厚0.8 小波硬質塩化ビニル板張り ⑩ 厚100 コンクリートブロック積み	和室3	畳	—	板張り	小屋裏室 木製床下地裏面表し (厚15板張り、根太60×75@500)	—	2,000	
		和室4	畳	—	板張り	厚3 合板張り	—	2,000	物入れ(棚1段)、押入れ(棚1段)
ポーチ	床: 土間コンクリート 【存置】 ⑪ 壁・外壁(土壁下地 厚12 板張り) 天井: 木製屋根下地表し	台所	厚9 モザイクパーケット張り	—	厚3 合板張り	厚3 合板張り	—	2,000	流し台(L1800)、コンロ台(L600×D400) 木製造作吊棚(L1,100×D200×2段×2カ所)
		浴室	モルタル塗り	—	モルタル塗り下地 薄付け仕上塗材(リシン系)仕上 ※3	モルタル塗り下地 薄付け仕上塗材(リシン系)仕上 ※3	—	2,000	SUS製浴槽(L800×D700×H600)
根廻り	⑫ 基礎コンクリート 【存置】	トイレ	木製床ラス下地モルタル塗り	—	厚3 合板張り	厚3 合板張り	—	2,000	和式大小兼用便器、隅付ロータンク
樋	軒樋: 塩ビ製 半丸105 タテ樋: 塩ビ製 Φ60	物置1・2	土間コンクリート 【存置】	—	外壁・木製下地裏表し	木製屋根下地裏表し	—	—	木製造作棚 L4,800×D450×3段 木製造作棚 L1,800×D450×3段



有限会社 尾崎設計 一級建築士事務所 第04-767号
管理建築士 一級建築士 (大臣登録番号 第308101号) 尾崎 知典

CHECK

作 成 年 月

R 07.12

代表となる設計者
(有)尾崎設計 一級建築士 大臣登録番号 216175号 浅田 栄次
その他の設計者



名 称
2022-7号 網代地内特定空家等解体工事
図面名
平面図、立面図、仕上表、床面積図、床面積表

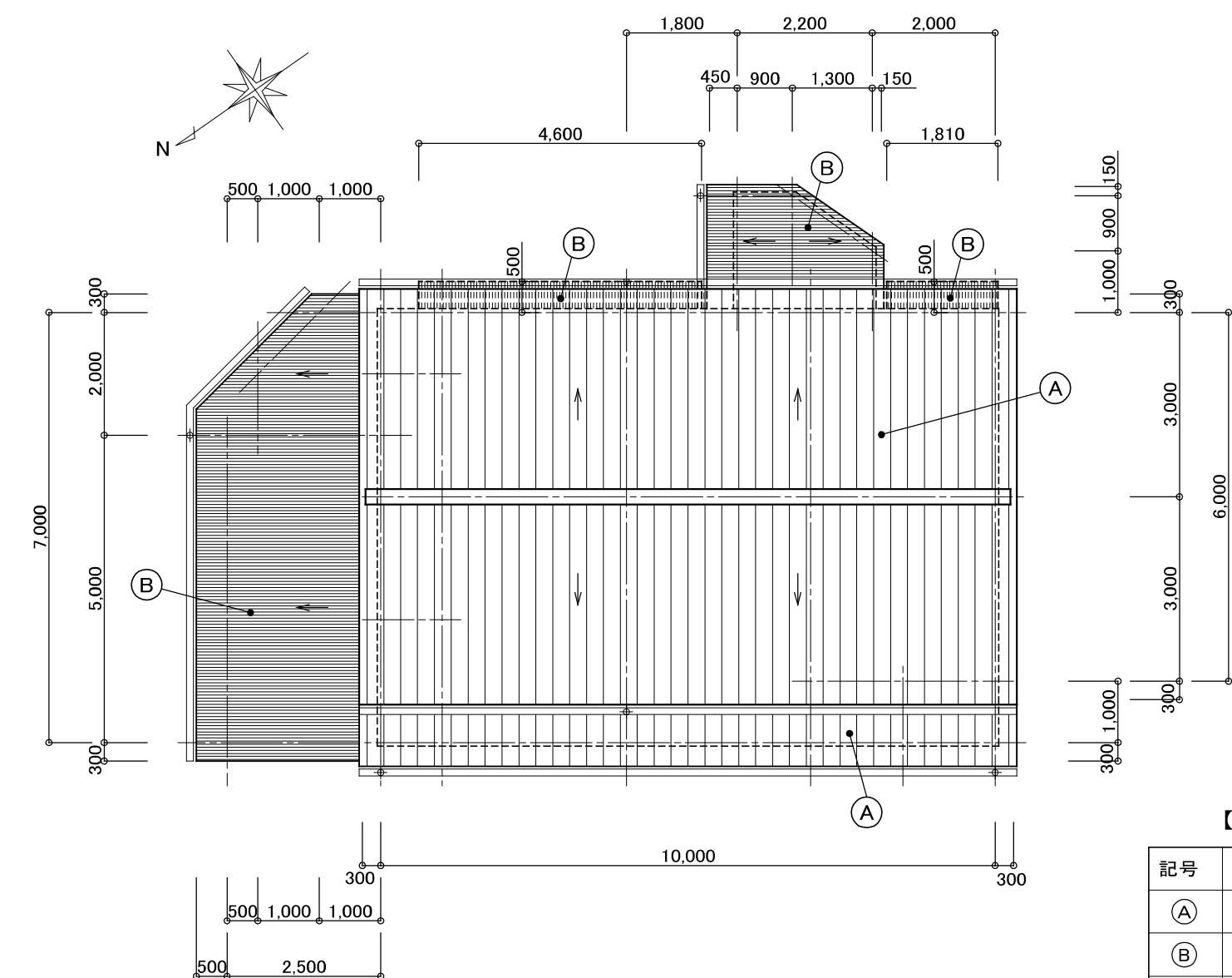
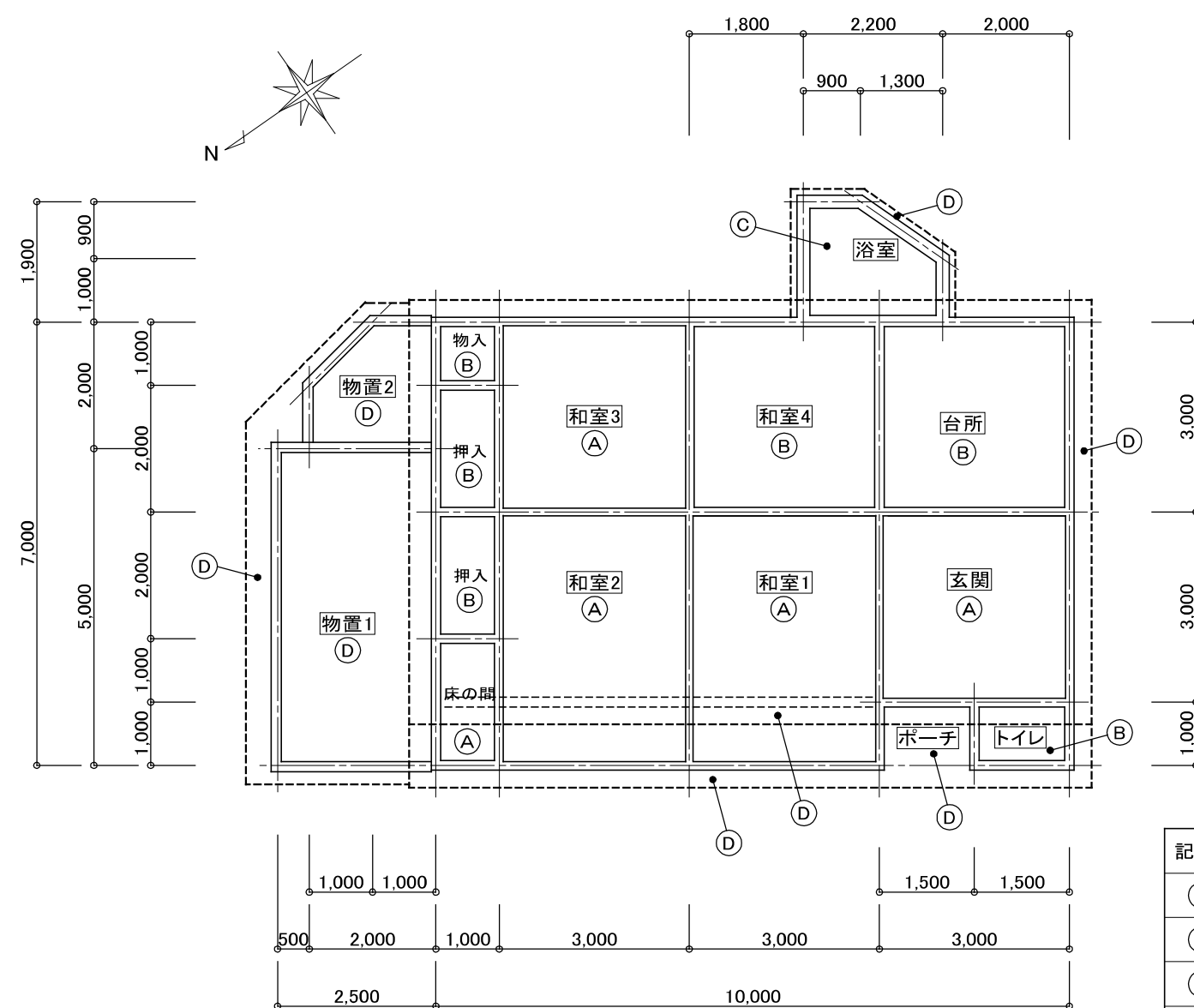
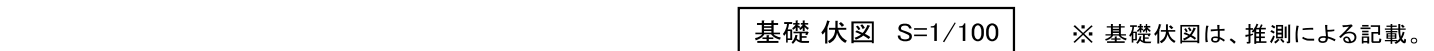
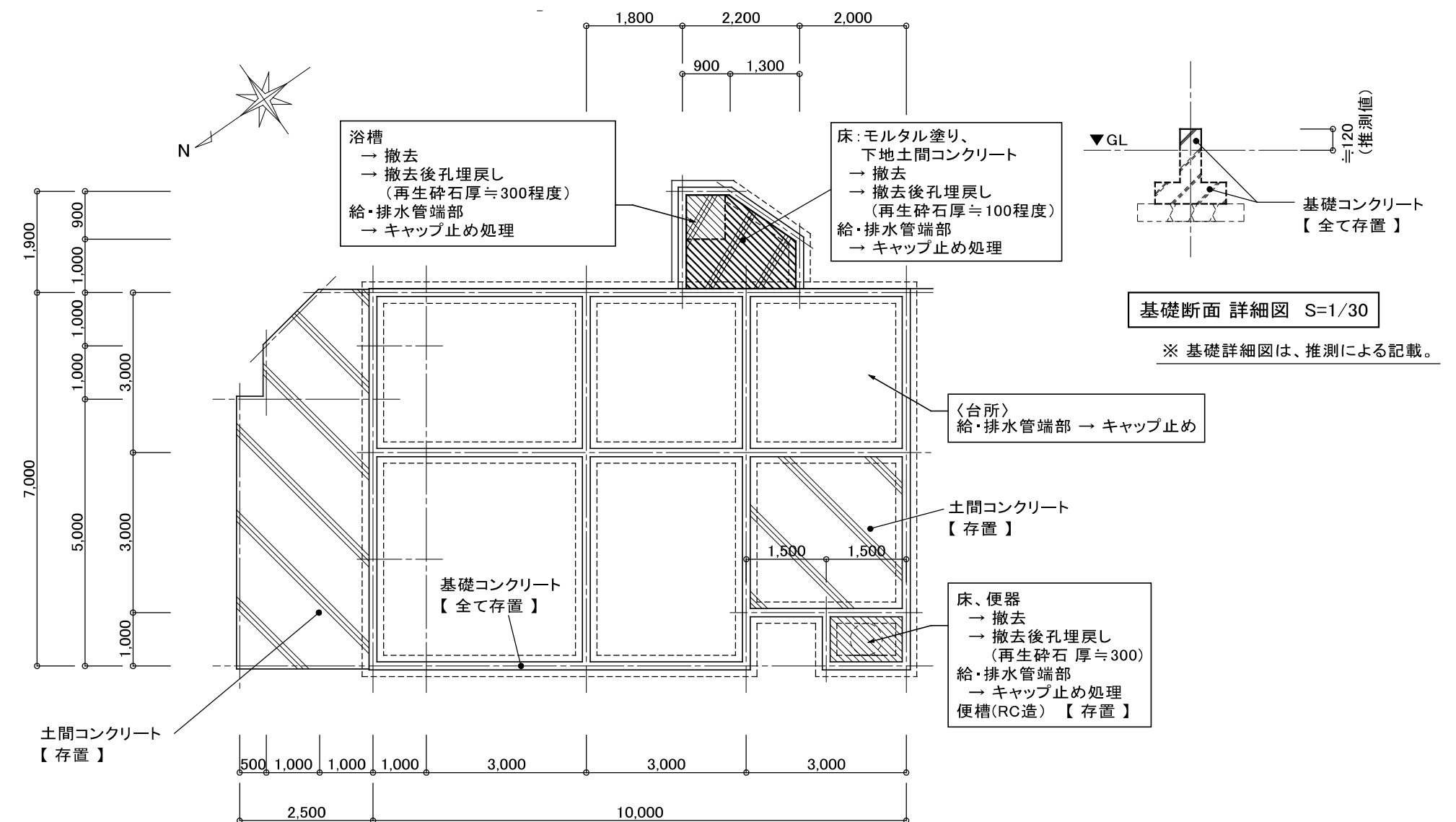
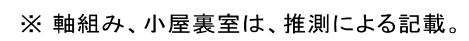
縮尺

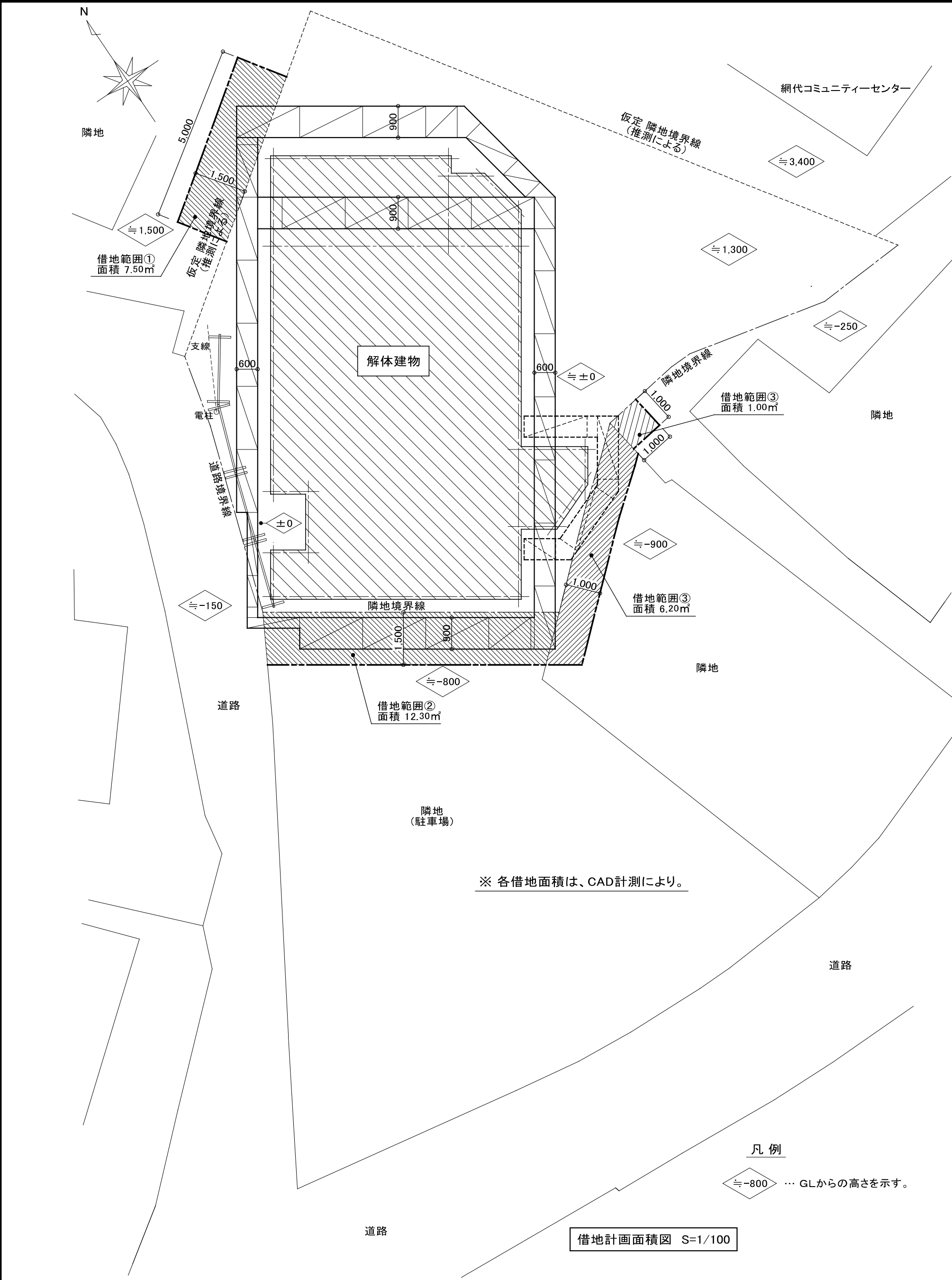
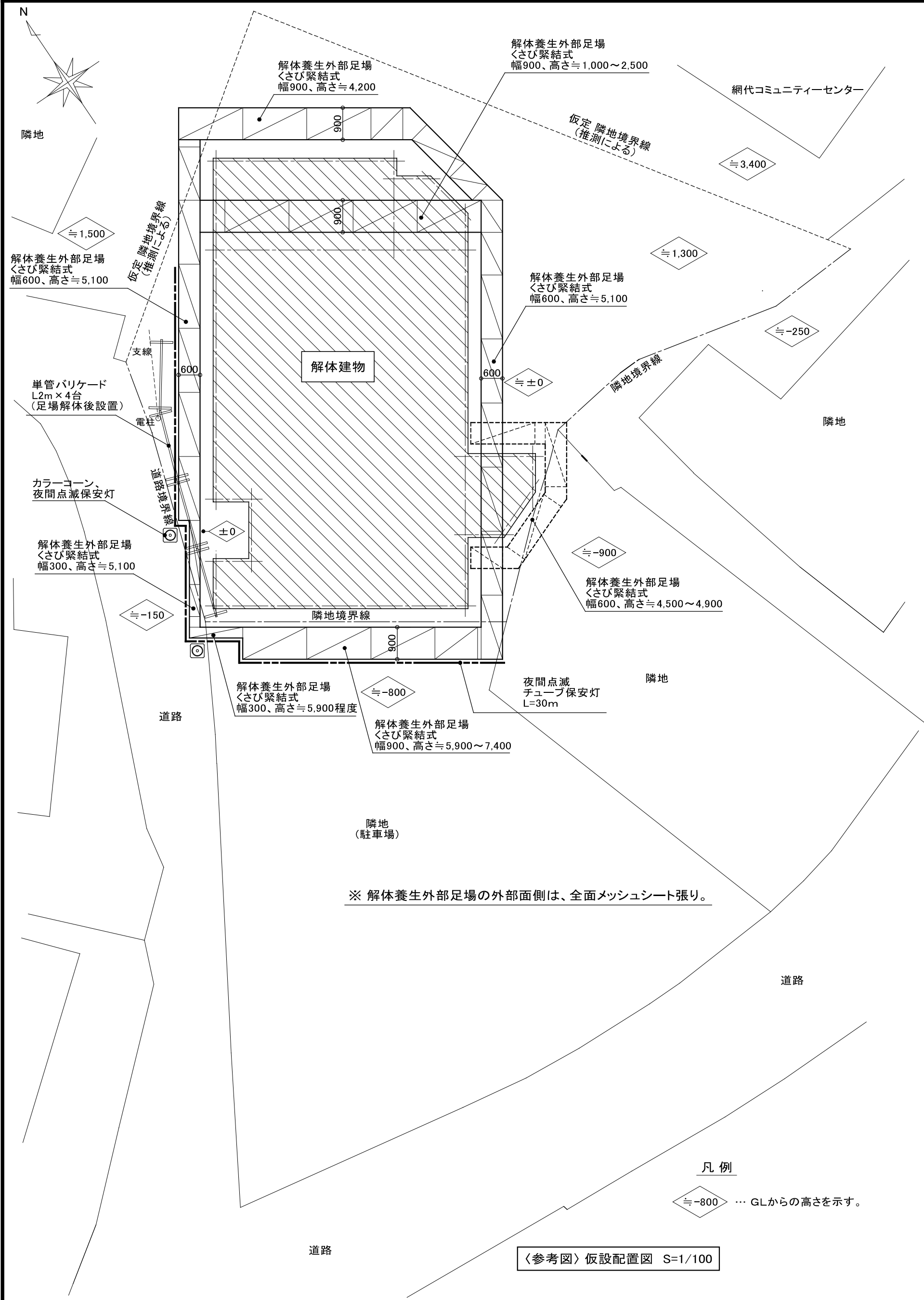
1 : 100



図面縮小率
A3 70.7%

図面 No.

A - 03





 有限会社 尾崎設計 一級建築士事務所 第04-767号 管理建築士 一級建築士 (大臣登録番号 第308101号) 尾崎 知典	CHECK 	作 成 年 月 R 07.12	代表となる設計者 (有)尾崎設計 一級建築士 大臣登録番号 216175号 浅田 栄次	名 称 2022-7号 網代地内特定空家等解体工事	縮尺 1 : 100 図面縮小率 A3 70.7%	図面 No. A - 05
			その他の設計者	図面名 〈参考図〉 仮設配置図、借地計画面積図		

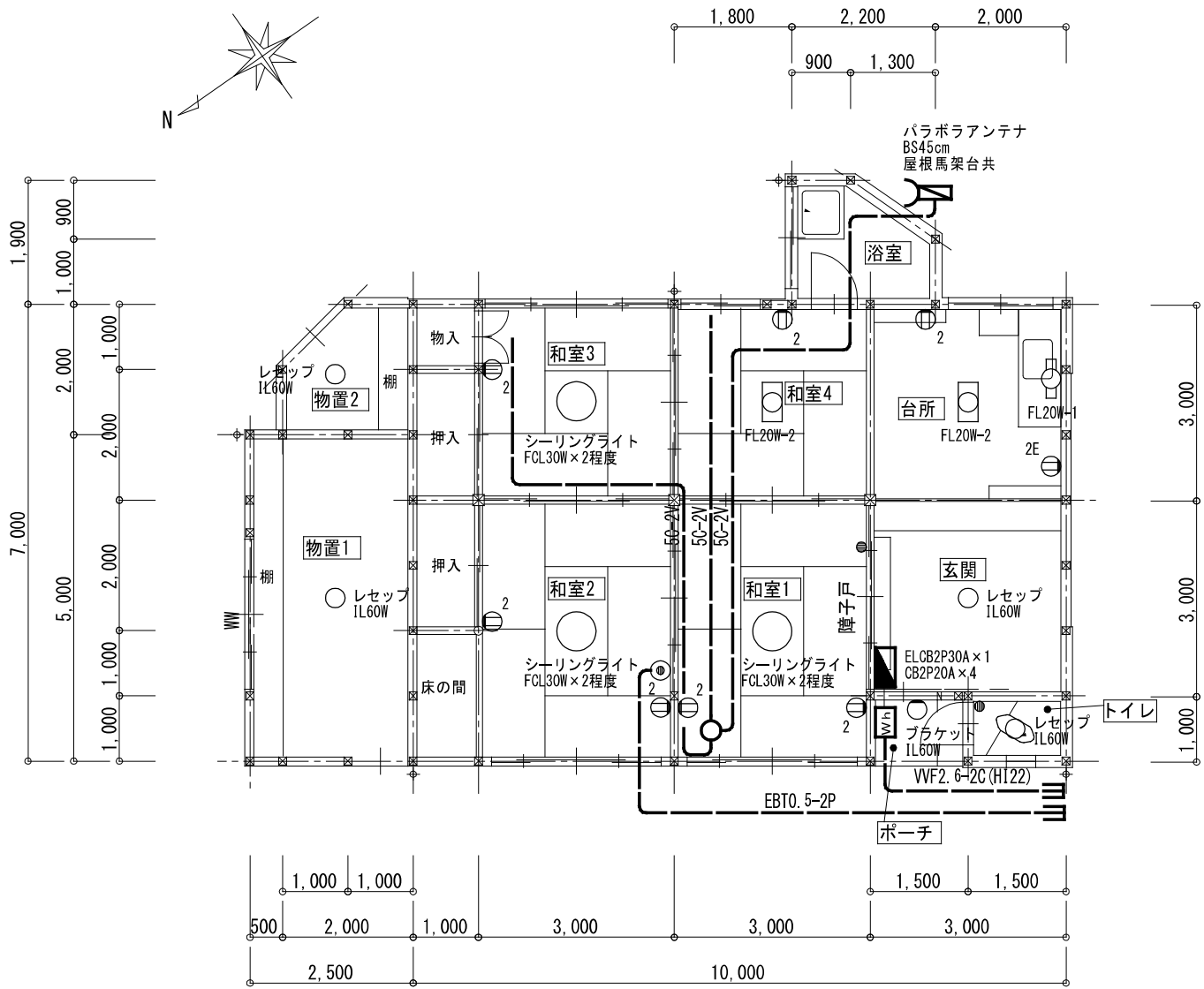
特記仕様

以下の仕様書を適用とする。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）」（以下「標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和４年版）」（以下「標準図」という。）



電灯・弱電設備 撤去図 S=1/100

特記事項

1. 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）のうち該当する項目を適用とする。
2. 図中太線を本工事（撤去）とする。
3. 上屋解体に伴う配管、配線、配線器具類は建築工事で行い、産廃処分のみとする。

産廃処分計上数量

	数量	単位		計	単位
幹線設備					
電灯分電盤				1	面
電力量計				1	個
VVF2. 6-2C	10	m	1 引込	10	m
電灯コンセント設備					
照明器具 シーリングライト				3	台
照明器具 流元灯FL20W-1				1	台
照明器具 吊下FL20W-2				2	台
照明器具 白熱灯				5	台
VVF1. 6-2C	50	m	4 分岐	200	m
VVF2. 0-2C	10	m	4 分岐	40	m
片切スイッチ				2	個
露出コンセント				8	個
TV受信設備					
BSアンテナ45cm(屋根馬共)				1	基
2分配器				1	個
50-2V				50	m
電話配管設備					
モジュラジャック				1	個
EBT0. 5-2P				15	m

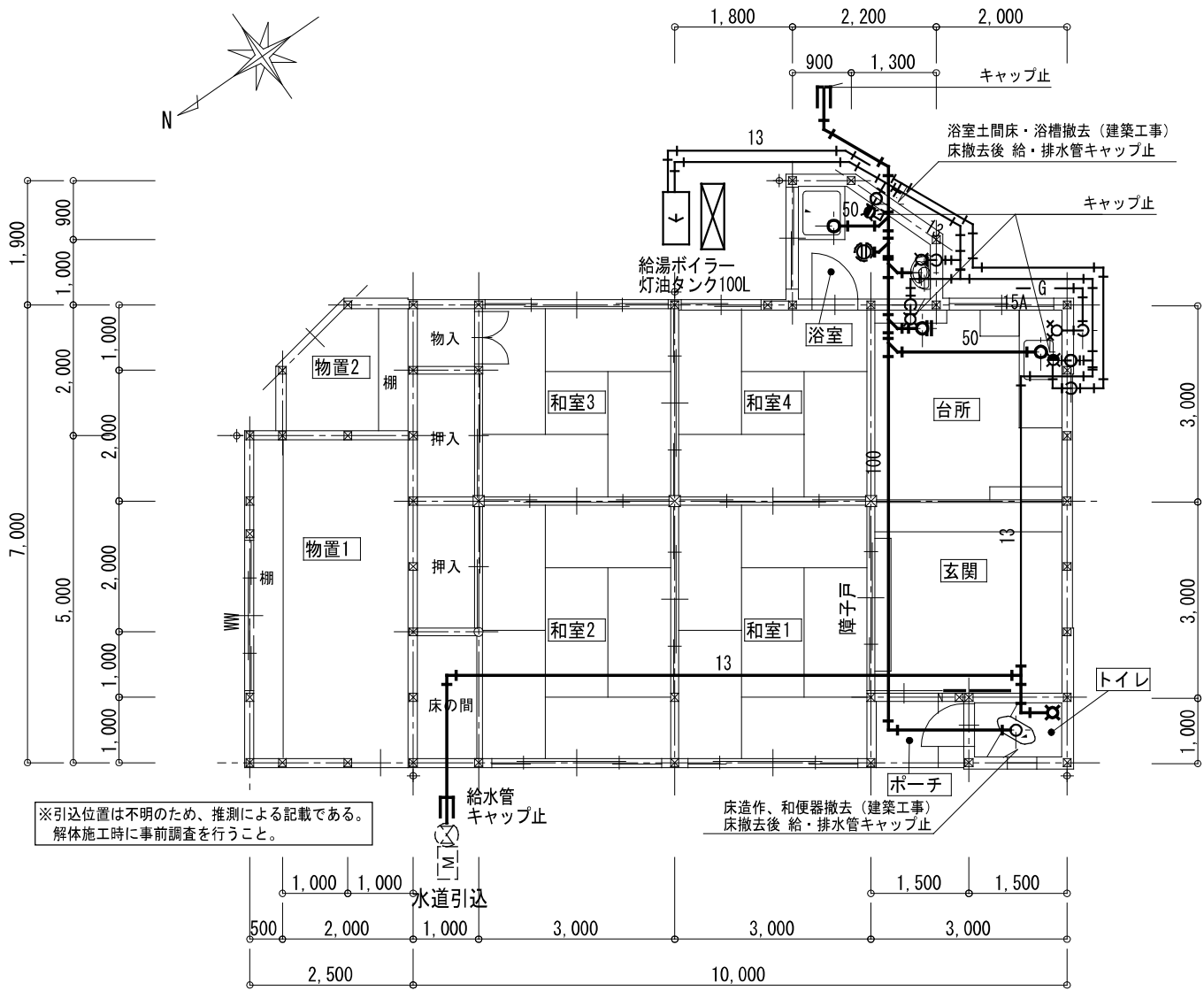
特記仕様

以下の仕様書を適用とする。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）」（以下「標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和４年版）」（以下「標準図」という。）



給排水・衛生器具・ガス配管設備 撤去図 S=1/100

特記事項

1. 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）のうち該当する項目を適用とする。
2. 図中太線を本工事とする。
3. 上屋解体に伴う配管類は建築工事で行い、産廃処分のみとする。
4. 既設給排水配管は、基礎部分にてキャップ止めとする。

産廃処分計上数量

		計	単位
衛生器具設備			
和便器（ロータンク）		1	組
手洗器		1	組
給水設備			
VP13	保温共	30	m
HTVP13	保温共	15	m
水栓		5	個
給湯設備			
給湯ボイラー	SUSタンク100L共	1	台
排水設備			
VP50		5	m
VP100		2	m
ガス配管設備			
SGP(白)		3	m
ガスコック	双口	1	個



有限会社 尾崎設計 一級建築士事務所 第04-767号
管理建築士 一級建築士（大臣登録番号 第308101号） 尾崎 知典

CHECK



作 成 年 月

R 07.12

代表となる設計者

(有)尾崎設計 一級建築士 大臣登録番号 216175号 浅田 栄次

その他の設計者



名 称

2022-7号 網代地内特定空家等解体工事

図面名

電灯・弱電設備 撤去図
給排水・衛生器具・ガス配管設備 撤去図

縮尺

1 : 100

図面縮小率
A3 70.7%

図面 No.

EM - 01